



1. 水と森と空気から考える、未来
2. エネルギーから考える、未来
3. ごみと資源から考える、未来
4. いのちから考える、未来

発表日 2023年2月6日

北海道環境計量証明事業協議会と札幌市が、 「災害時における石綿モニタリング等に関する協定」を締結します

北海道環境計量証明事業協議会（以下「協議会」という。）と札幌市は、令和5年2月7日に、「災害時における石綿モニタリング等に関する協定」を締結しますので、下記のとおりお知らせいたします。

1 本協定の概要

(1) 目的

大規模な災害により建築物等が損壊した場合に、迅速かつ円滑に大気中の石綿（アスベスト）等の飛散状況を把握し、市民の安全・安心を確保する体制を整備するもの。

(2) 背景

石綿はその発がん性等のため、全面的に製造等が禁止されていますが、過去に建てられた建築物には石綿含有建材が使用されている可能性があります。大規模な災害により多くの建築物が倒壊・損壊した場合には、石綿が飛散して市民がばく露するおそれがあるため、大気中の石綿濃度をモニタリングすることが重要です。

国が策定した「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」では、各自治体に対し、災害の影響で人員の確保等が困難になることを想定し、他の者とのモニタリングに係る連携体制を構築するよう促しています。

(3) 内容

札幌市内で大規模な災害により建築物等が損壊した場合に、札幌市が協議会の協力を得て石綿モニタリング等を実施するものです。

(4) 北海道環境計量証明事業協議会の概要

北海道に登録する計量証明事業者(正会員)及び環境関連事業者(賛助会員)
会員数：正会員 52 事業所、賛助会員 2 事業所（令和4年6月現在）

2 協定締結式

(1) 日時：令和5年2月7日（火） 11:00 ～ 11:30

(2) 場所：札幌市役所本庁舎 16階 議員会議室

(3) 出席者

ア 協議会：会長 高橋 徹 様、幹事 高岡 伸一 様

イ 札幌市：環境局長 米田 智広、環境管理担当部長 吉津 智史

(4) 取材について

取材ご希望の方は、裏面の担当まで事前にご連絡ください。

1. 水と森と空気から考える、未来
2. エネルギーから考える、未来
3. ごみと資源から考える、未来
4. いのちから考える、未来

3 石綿モニタリングとは

屋外において一定時間（2～4時間程度）ポンプで空気を吸引し、ろ紙上に採取された石綿を顕微鏡で調査することで、大気中の石綿濃度を算出するもの。

災害時においては、避難所周辺、倒壊・損壊した建築物等の多い地域、災害廃棄物仮置場等での測定を想定しています。



お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、下記担当までお願いします。

札幌市環境局環境都市推進部環境対策課 林、山田
札幌市中央区北1条西2丁目（電話 011-211-2882）